

＜研究ノート＞

大学における「生涯学習」教育の実践： 専修大学文学部における今後のカリキュラム改革に向けて

荻原 幸子・野口 武悟

1. はじめに

大学におけるカリキュラム編成は、大学設置基準による卒業単位数や授業科目の種別等の緩やかな制限以外には、各大学の独自性を発揮することが許容されており、どのような科目を設定するか、どの学年に配当するか、必修・選択のいずれにするかなどは、各学部、学科の教育の担い手である教員等に委ねられている¹⁾。従って、少なくとも教員は、各学問領域の専門家として、常に先々の方向を見据えつつ、施設・設備等の学習環境の範囲内で、より効果的な教育のあり方を追究し、カリキュラム改革を実施する立場にあるといえる。

専修大学文学部は2010年の学部改組により、新たに人文・ジャーナリズム学科を開設した。同学科は、東西文化、生涯学習、ジャーナリズムの3コースより編成されており、学生は2年次より各コースに所属する。本稿は、同学科に所属する教員らがその責務として、新たに設置された「生涯学習コース」における今後のカリキュラム改革の方向性を追究するために行った情報収集の成果の一端を表すものである。

以下、2章では大学における「生涯学習」教育の全国的な動向を明らかにし、3章で専修大学人文・ジャーナリズム学科生涯学習コースのカリキュラムの状況を提示する。続く4章では専修大学と同様に私立大学であり、かつ、「生

涯学習」を冠する学科を設置する、常葉大学教育学部生涯学習学科のカリキュラムの概要を表す。最後に5章では、このような広い視野での状況把握が、今後のカリキュラム改革にとって有意義であることを指摘する。

2. 全国の大学における「生涯学習」に関する専門学科・専攻・コースの開設状況と特徴

『平成25年度全国大学一覧』に拠ると、2013年度時点で、「生涯学習」（または「社会教育」）に関する専門学科・専攻・コースを設ける大学は、25大学（国立大学16校、公立大学0校、私立大学9校）であった（表1²⁾。このなかには、専修大学文学部人文・ジャーナリズム学科生涯学習コースも含まれる。なお、学科・専攻・コースのなかの講座や、研究室の1つとして「生涯学習」を専門とするものを設けるところは、前述の25大学以外にも存在する（例えば、東北大学教育学部や東京大学教育学部など）。

25大学のうちのほとんどが、教育学部のなかに学科・専攻・コースを設けている。とりわけ、国立大学では、16校のうち名古屋大学を除く15校すべてが1980年代後半から1990年代に開設された「ゼロ免課程」と呼ばれる形態をとっている。これは、少子化に伴う教員需要の減少によって、教員養成課程を主体とした教育

学部を改組して開設したもので、教員養成を目的としない（教員免許の取得を卒業要件にしない＝「ゼロ免」）学科である。当初は、社会や学生のニーズに基づくというよりも、教育学部の現有教員の配置転換のために設けられたような側面が強かった。この「ゼロ免課程」としては、「生涯学習」に関するもの以外にも、社会福祉や環境教育など、多様な学科が全国の国立大学教育学部に開設された。しかし、2000年代の半ばになると、団塊世代の教員の大量退職と、それに伴う教員需要の増大によって、再び、教員養成に特化した教育学部へ改組する動きが見られ、「ゼロ免課程」は減少し始めている。例えば、埼玉大学教育学部では、2006年度に「生涯学習」と「人間発達科学」の2学科を募集停止とし、教員養成に特化している。文部科学省も「ゼロ免課程」廃止を各国立大学に求めており、今後、減少傾向に拍車がかかるものと思われる。

25大学のうち、教育内容・カリキュラムについては、(1) 教育学として「生涯学習」そのものの理論と実践を中心に学ぶものと、(2) (1) をベースにしつつも、スポーツや芸術などの関連主題を中心に学ぶものとに大別できる。(1) は私立大学に多くみられ、(2) は国立大学（「ゼロ免課程」）に多くみられる。後述の、専修大学や常葉大学教育学部生涯学習学科については、(1) と (2) を融合した教育内容・カリキュラムとなっている。

また、25大学において取得可能な免許や公的資格³⁾としては、社会教育主事が最も多く22大学で取得可能であり、続いて博物館学芸員が21大学、中学校などの教員免許（教育職員免許状）が20大学、図書館司書が11大学であった。このほかに、少数ながら、社会福祉主事や児童指導員、社会福祉士国家試験受験資格などが取得できる大学もある。取得可能な免許

や公的資格の組み合わせでは、「中学校などの教員免許、社会教育主事、博物館学芸員」が最も多く6大学、次いで「中学校などの教員免許、社会教育主事、図書館司書、博物館学芸員」が4大学、「社会教育主事、博物館学芸員」が3大学、「社会教育主事、図書館司書、博物館学芸員」が2大学であった。「中学校などの教員免許、図書館司書、博物館学芸員」という組み合わせは、専修大学のみであった。

3. 専修大学文学部人文・ジャーナリズム学科生涯学習コース

同学科は、文学部の学部改組により2010年4月に新設され、前述の通り「生涯学習コース」「東西文化コース」「ジャーナリズムコース」より構成されている。学生は2年次より各自の希望するコースに所属する。

生涯学習コースは、“少子化、長寿社会化、格差社会化という目下の日本の社会問題と正面から向き合い、問題解決の重要な方向性である生涯学習社会の形成と、その内実をなす個人のライフサイクルに合わせた学習やスポーツ・レクリエーション活動のあり方について、理論的・実践的に取り組むことを目指している。そして、生涯学習の視点から学校教育を考えられる教員、生涯学習・スポーツ分野の指導者や行政担当者になるべき人材の育成を意図している”と掲げている⁴⁾。

現行カリキュラムは、当初のカリキュラム（旧カリキュラム）の完成年度（2013年度）を待って、2014年度入学者から適用されている。今般のカリキュラム改定においては、卒業要件単位の削減や、隔年開講科目制度の廃止など、学部のカリキュラムとして改定が要請された事項と、3コースの共通科目である「東西文化論」「生涯学習論」「マスコミュニケーション概論」

表1 「生涯学習」に関する専門学科・専攻・コース開設大学一覧

大学名	学部名	学科名	専攻・コース名	取得可能免許・公的資格
国立	教育学部	生涯教育課程	健康生活専攻 芸術文化専攻 地域生活専攻	*教員免許状（中学校1種社会・理科・保健体育・音楽・美術・高等学校1種公民・理科・保健体育・音楽・美術） *社会教育主事 *博物館学芸員
国立	教育学部	生涯教育課程	日本語・地域文化コース スポーツ教育コース	*社会教育主事 *博物館学芸員
国立	教育学部	生涯教育課程		*教員免許状（中学校1種社会、高等学校1種地理歴史・公民） *社会教育主事 *図書館司書 *博物館学芸員
国立	教育学部	人間社会科学課程	生涯学習専攻 カウンスリング専攻 総合社会システム専攻	*教員免許状（中学校1種社会、高等学校1種公民） *社会教育主事 *図書館司書 *博物館学芸員 *社会福祉士国家試験受験資格
国立	教育学部	学習社会ネットワーク課程	学習社会ネットワークコース	*教員免許状（高等学校1種公民） *社会教育主事 *博物館学芸員
国立	教育地域科学部	地域科学課程	地域分析系	*社会教育主事 *博物館学芸員
			公共政策系	
			環境マネジメント系	
			生涯学習系	
			国際文化系	
国立	教育人間科学部	生涯学習課程	言語コミュニケーション系	*社会教育主事 *博物館学芸員
			芸術運営コース	
			スポーツ健康科学コース	
国立	教育学部	生涯教育課程	国際理解教育専攻 生涯スポーツ専攻	*教員免許状（主として中学校1種、高等学校1種の同一教科） *社会教育主事 *博物館学芸員
国立	教育学部	人間発達科学科	生涯教育開発コース	*教員免許状（主として中学校1種国語・社会・英語、高等学校1種国語・地理歴史・公民・英語） *社会教育主事 *博物館学芸員
			学校教育情報コース	
			国際社会文化コース	
			心理社会行動コース	
			発達教育臨床コース	
国立	教育学部	生涯教育課程	消費生活科学コース	*教員免許状（主として中学校1種家庭・保健体育）
			スポーツ健康科学コース	
			人間科学専攻生涯教育計画論コース	
国立	教育学部	教養学科	人間科学専攻人間行動学コース	*社会教育主事 *図書館司書 *博物館学芸員
			人間科学専攻発達人間福祉学コース	
			芸術文化コース	
国立	教育学部	生涯教育課程	スポーツ科学コース	*教員免許状（中学校1種、高等学校1種の理科・家庭・保健体育・音楽・美術） *博物館学芸員
			生活環境コース	

大学名	学部名	学科名	専攻・コース名	取得可能免許・公的資格
国立	福岡教育大学	教育学部	福祉社会教育コース 国際共生教育コース	＊教員免許状(中学校1種社会・英語、高等学校1種地理歴史・公民・英語・福祉) ＊社会教育主事 ＊社会福祉主事 ＊社会福祉士国家試験受験資格
国立	熊本大学	教育学部	地域共生社会課程	＊教員免許状(中学校1種社会・家庭・英語、高等学校1種地理歴史・公民・家庭・英語) ＊社会教育主事 ＊博物館学芸員
国立	鹿児島大学	教育学部	生涯教育総合課程	＊教員免許状(小学校、中学校、高等学校、養護教諭から原則として1つの免許の取得が可能) ＊社会教育主事 ＊社会福祉主事
国立	琉球大学	教育学部	生涯教育課程	＊教員免許状(コースによって、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の免許の取得が可能) ＊社会教育主事
私立	北翔大学	生涯学習システム学部	芸術メディア学科 学習コーチング学科	＊教員免許状(幼稚園1種、小学校1種、特別支援学校1種) ＊社会教育主事 ＊博物館学芸員
私立	東北福祉大学	総合福祉学部	社会教育学科	＊教員免許状(小学校2種、中学校1種社会、高等学校1種地理歴史・公民・福祉、特別支援学校1種) ＊社会教育主事 ＊図書館司書 ＊博物館学芸員
私立	川村学園女子大学	教育学部	社会教育学科	＊教員免許状(小学校1種、中学校1種社会、高等学校1種地理歴史・公民) ＊社会教育主事 ＊図書館司書 ＊社会福祉主事 ＊児童指導員
私立	専修大学	文学部	生涯学習コース 東西文化コース ジャーナリズムコース	＊教員免許状(中学校1種社会、高等学校1種地理歴史・公民) ＊図書館司書 ＊博物館学芸員
私立	早稲田大学	教育学部	教育学専修 生涯教育専修 教育心理学専攻 初等教育学専攻	＊教員免許状(中学校1種社会、高等学校1種地理歴史・公民、特別支援学校1種) ＊社会教育主事 ＊図書館司書 ＊博物館学芸員
私立	帝京大学	教育学部	生涯学習コース 中等教育コース	＊教員免許状(中学校1種社会・保健体育・英語、高等学校1種地理歴史・公民・保健体育・英語) ＊社会教育主事 ＊図書館司書 ＊認定心理士
私立	八洲学園大学	生涯学習学部	生涯学習支援系 生涯マネジメント系	＊社会教育主事 ＊図書館司書 ＊博物館学芸員
私立	常葉大学	教育学部	生涯学習専攻 生涯スポーツ専攻	＊教員免許状(高等学校1種保健体育) ＊社会教育主事 ＊図書館司書 ＊博物館学芸員
私立	天理大学	人間学部	生涯教育専攻 社会福祉専攻 人間関係専攻 臨床心理専攻	＊教員免許状(中学校1種国語・社会・保健体育・英語・宗教、高等学校1種国語・地理歴史・保健体育・社会・福祉・宗教) ＊社会教育主事 ＊図書館司書 ＊博物館学芸員

注1) 本表のデータは、『平成 25 年度全国大学一覧』文教協会、2013 に拠った。
 注2) 生涯学習・社会教育関連の科目や講座・研究室を開設しているものの、専門の学科・専攻・コースなどの教育組織を設けていない大学は、本表には掲載していない。

大学における「生涯学習」教育の実践：専修大学文学部における今後のカリキュラム改革に向けて

を通年・必修から半期・選択必修とすること、ゼミナールを2年次からの必修科目とすることなど、学科のカリキュラムとしての改定事項が優先され、個別のコースのカリキュラムについては、一部の科目名称の変更に留まった。最大の論点は選択必修科目に関するコース間の分離と融合のバランスであった。多くの議論の結果、コース別に設定していた選択必修科目を廃止し、卒業要件単位である16科目32単位のうち、4科目8単位は所属コース以外の科目を履修しなければならないとした（図1）。所属コースの科目を履修しなければならないとする制約を大幅に緩和し、各コースの科目を柔軟に組み合わせた履修を可能とすることにより、コース間の融合を目指したことになる。

生涯学習コースの科目名称、配当年次を表2に示す（単位数はすべて2単位である）。生涯学習施設や子育て・学習支援の現場での実習・調査、ワークショップ実習など参加型学習を重視する学習系の科目と、スポーツを通して楽しむ力や分析する力を養い、スポーツ政策やビジネス、心理等を学び、生涯におけるスポーツの可能性について考えるスポーツ系の科目に大別される。従って「生涯学習調査実習」か「生涯スポーツ演習」のいずれかは必ず履修（単位修得）しなければならないとしている。

なお、学科の専門科目とは別に、全学部の学

生を対象とする、教職課程、司書教諭課程、司書課程、学芸員課程の所定の単位を修得することにより、中学校教諭1種免許状（社会）、高等学校教諭1種免許状（地理歴史・公民）、司書教諭、図書館司書、博物館学芸員の資格取得が可能である。

表2 生涯学習コース科目一覧（専修大学）

科目名称	配当年次
生涯教育・学習思想	1234
学習ファシリテーション論	1234
ジェンダー教育論	1234
生涯学習心理学	234
生涯学習調査実習	234
生涯学習政策論	234
生涯学習施設論	234
ワークショップ演習ベーシック	234
ワークショップ演習アドバンス	234
ライフサイクル論	234
子ども・若者支援演習	234
人権学習論	234
世代育成のポリティクス	234
教育・学習支援NPO論	234
教育史	234
生涯スポーツ学	1234
生涯スポーツ演習	234
スポーツの心理学	234
スポーツ政策	234
スポーツサイエンス論	234
スポーツの社会学	234
スポーツビジネス	234
スポーツメンタルトレーニング演習	234
スポーツ情報戦略論	234
スポーツライフマネジメント論	234

旧カリキュラム			現行カリキュラム		
区分		卒業要件	区分		卒業要件
必修科目	3コース共通科目	12科目 30単位	必修科目	ゼミナール	7科目 20単位
	ゼミナール 卒業論文				
選択必修科目	3コース共通科目		6科目 12単位	選択必修科目	東西文化コース科目 生涯学習コース科目 ジャーナリズムコース科目
	東西文化コース科目	所属するコースの科目から8科目 16単位			
	生涯学習コース科目				
	ジャーナリズムコース科目				
選択科目	3コース共通科目	11科目 22単位	選択科目	3コース共通科目	8科目 16単位

（注）カリキュラムの全体を示すものではない

図1 人文・ジャーナリズム学科カリキュラム改定の概要

4. 常葉大学教育学部生涯学習学科

同学科は1998年に設置され、現在は“人々の生涯学習を支援・推進するという立場に立って、生涯学習社会の様々な教育分野で活躍できる人材を育成すること”を目的とし、“幼少期から高齢期に至るまでの様々な場面における教育・生涯学習支援という観点から、生涯学習の理念に則り、生涯学習社会の実現を図るための指導力と企画・立案・運営能力及びコーディネート能力を兼ね備えた専門家や指導者の育成”を目指していると掲げている⁵⁾。2012年度より「生涯学習専攻」と「生涯スポーツ専攻」の2専攻で編成され、前者は社会教育主事、図書館司書、博物館・美術館の学芸員等の社会教育関係の資格取得者、後者は、レクリエーション・インストラクター、キャンプ・インストラクター等の生涯スポーツ指導者の輩出を想定している。また、同学部の初等教育課程科目の単位を取得することにより、幼稚園、小学校、中学校・高等学校教諭のいずれかの1種免許状が取得可能であり⁶⁾、2012年度からは生涯スポーツ専攻に中学校・高等学校教諭（保健体育）の1種免許状を取得出来る教職課程が開設されるなど、教員養成も視野に入れている。

“受験生に積極的に選ばれる学科づくり”⁷⁾に向けて、カリキュラム改革の取り組みは継続して行われている。特に2007年には、全国的な「ゼロ免課程」廃止の動向や、社会状況の変化にともなう生涯学習関連の雇用環境の変化を踏まえて、学科教員数名による研究会が組織され、学生に対するアンケート調査や他大学への訪問調査等を実施した。研究成果として報告書⁸⁾に示された提言内容は、以後のカリキュラム改革において部分的に実現している。

2012年度からの、生涯学習学科の現行カリキュラムは、学科共通科目と、生涯学習専攻科

目、生涯スポーツ専攻科目より構成される。学科の趣旨（上述）に沿って、各専攻のカリキュラムにおいては、社会教育主事、司書、学芸員、教育職員免許状（保健体育）、レクリエーション・インストラクター、キャンプ・インストラクター、初級障害者スポーツ指導員の資格取得のために必要な科目が、必修・選択必修科目として設定されている⁹⁾。現行カリキュラムの特徴は、初年次教育の充実のための「生涯学習セミナー」（1年次配当、2単位）、体験型カリキュラムの充実のための「社会教育実習Ⅰ」（1年次配当、2単位）、さらに、卒業研究・論文の指導を実施する「生涯学習特別研究」（3・4年次配当、6単位）にあるとされる¹⁰⁾。今回、筆者らは特に「生涯学習セミナー」「社会教育実習Ⅰ」に着目し、ヒアリング調査によりその概要を把握した¹¹⁾。

(1) 生涯学習セミナー¹⁰⁾

同科目の目的は、1年生が学内外での様々な活動を通して、学生相互の交流を図ること、及び、進路を踏まえた学修の見通しを持てるようにすること、そして、生涯学習関連の講義科目を補完する知識を身につけること、等とされる。授業内容は、以下のような構成である（表3）。

- 1) 学科教員や上級生との交流、及び、カリキュラムや進路についての理解を深める。（授業の初回は全教員が、第2回は上級生が、入学したばかりの1年生に向けたメッセージを伝える。）
- 2) 学内施設において1泊2日で実施される大学行事（研修セミナー）¹²⁾に向けて、少人数グループで計画づくりに取り組む。
- 3) 生涯学習や生涯スポーツ関連の事業に関して、ゲスト講師を招聘した講演を行うとともに、夏期・冬期の長期休暇中には、地域の生涯学習施設（体育館、競技場、水泳

場、武道館、博物館、動物園等）で実施される生涯スポーツ・生涯学習関連事業を実際に体験する。（例えば、2014年度前期は、静岡県教育委員会の指導主事による総合型地域スポーツクラブに関する講演と、県内のプロフットサルチームの経営者による講演が行われた。履修者はこれらの講演内容を踏まえて、事業体験の計画書を作成し、体験後には報告書と体験報告会での発表を行う。）

- 4) 卒業後の進路に関する自己課題を明確化するために、諸活動等の振り返りを行う。

表3 「生涯学習セミナー」授業の計画と内容
(常葉大学2014年度シラバスより)

第1回	生涯学習学科で学ぶ (1) : 教員からのメッセージ (レポート1)
第2回	生涯学習学科で学ぶ (2) : 上級生からのメッセージ (レポート2)
第3回	生涯スポーツの現場 (1) : 市民スポーツの現状 (レポート3)
第4回	生涯スポーツの現場 (2) : スポーツ経営の現場 (レポート4)
第5回	生涯学習支援者を目指して (1) : 自己課題の明確化 (レポート5)
第6回	生涯スポーツの現場 (3) : 事業体験 (1) (計画づくり) (計画書1)
第7回	生涯スポーツの現場 (4) : 事業体験 (2) (班別活動) (報告書2)
第8回	生涯スポーツの現場 (5) : 体験報告会 (レポート6)
第9回	生涯学習の現場 (1) : 生涯学習施設の現状 (レポート7)
第10回	生涯学習の現場 (2) : まちづくりの課題 (レポート8)
第11回	生涯学習学科で学ぶ (3) : 研修センターゼミに向けて
第12回	生涯学習の現場 (3) : 事業体験 (1) (計画づくり) (計画書2)
第13回	生涯学習の現場 (4) : 事業体験 (2) (班別活動) (報告書2)
第14回	生涯学習の現場 (5) : 体験報告会 (レポート9)
第15回	生涯学習支援者を目指して (2) : 今後の学修の見通し (レポート10)

ヒアリング調査を通じて、特に以下の2点が注目された。一点目は、上記1) から4) のそれぞれについて、レポート、計画書、報告書の作成・提出を求めていることである (表3参照)。特に、生涯学習・生涯スポーツ関連の事業体験 (上記授業内容の3)) で計画書・報告書の作成と体験報告会での発表が設定されているのは、同学科が育成を目指す“生涯学習社会の実現を目指す専門家や指導者 (いわゆる「生涯学習支援者」)” にとって、企画と報告の習慣付けが不可欠であるとの考え方にもとづいている。また、ほぼ毎回提出するレポート (A4用紙1枚) を通して、「書く力」が養われる状況にあるとのことであった。もう一点は、学生・教員間の交流を促す工夫である。「生涯学習セミナー」は、教養科目「人間力セミナー」(必修・通年・隔週開講) とほぼ平行して開講される¹³⁾。「人間力セミナー」は少人数のゼミ形式 (1教員につき5～7名) で実施されるため、「生涯学習セミナー」の班はこれと同じメンバー構成とし、授業時は班ごとに着席するなど、協力して各種の班別活動を行う。従って履修者は1年間を通して、ある週は「人間力セミナー」で少人数の同級生と学習し、別の週は「生涯学習セミナー」で班を踏まえて同級生全員と学習するという形で交流を繰り返す状況にある。また、「人間力セミナー」の担当教員 (15名) は、自身の担当する学生が提出した「生涯学習セミナー」のレポートを採点して返却することになっており、その過程で、各学生に関して気になる状況が見られる場合には、教員間で情報を共有しつつ支援する態勢となっている。本科目の内容を検討する際には、学科への帰属意識や一体感の醸成の必要性が認識されており、現在はい定程度の効果を捉えることができるとのことである。

(2) 社会教育実習 I

同科目は、県内の青少年教育施設等が主催する野外活動教育スタッフ養成プログラム（もしくは、青少年指導者養成研修）への参加を主な内容とし、“自身の希望に応じた実習先を主体的に選ぶことができる”“自身の役割や責任、行動規範などについて理解し、実習生としての心構えをもつことができる”“活動の概要、成果と反省点などを実習録に丁寧に記録することができる”などの到達目標が設定されている¹⁴⁾。

具体的な実習施設は、国立中央青少年交流の家、静岡県立青少年教育施設（朝霧野外活動センター、焼津青少年の家、観音山少年自然の家、三ヶ日青年の家）、静岡市井川少年自然の家、静岡市清水和田島少年自然の家、浜松市立青少年の家、等である。履修者はまず、各施設の担当者から実習内容の紹介や説明を受け、実習先を選択して所定の手続きをとる（事前指導）。そして6月から12月までの期間で、講習や実技研修などの実習施設での指導を受ける。実習内容は施設により異なっており、例えば、静岡県立青少年教育施設が実施する研修では、野外活動の効果、キャンプカウンセリング、青少年の心理、青少年教育施設の役割、現代的課題に対応するプログラム、安全管理等の講義、及び、自然観察、クラフト、イニシアティブゲーム、オリエンテーリング、ウォークラリー、ネイチャーゲーム、キャンプファイアー等の技能と運営法などの実技を内容としている。実習期間中に履修者（実習生）は、実習日、実習時間、主な活動場所、活動目標・自己課題、活動の概要、成果と反省点を、既成の「社会教育実習録」に、記録する。また、実習施設の担当者からの助言や検印も受ける。実習後には、「社会教育実習録」と「体験レポート」を提出するとともに、体験報告会で発表する（事後指導）。なお、参加費（実習期間中の食費や宿泊費、交通費等）

は、履修者の負担である。2年生以降に継続して実習を希望する学生は、「社会教育実習Ⅱ」（選択科目／2単位）の履修が可能である。

先に示した通り、本科目は、各実習施設が実施するプログラムを大学の授業科目に組み込む形態をとっている。学科としては、1年生が野外活動ボランティアを体験することの教育効果を認め、実習施設では、人材育成事業の参加者を一定数確保し、プログラムの効果を高めるという意義を認めている。こうした両者の連携関係が本科目の基盤であり、特徴であるといえる。これまで事故やトラブル等がないのは、実習施設の人材育成に対する高い意識によるものではないかとのことであつた。地域に学生の受け入れ環境が整っているということも、このような科目を成立させるための不可欠な要件であるといえる。

5. おわりに

全国的な動向を俯瞰すると、専修大学の「生涯学習」教育には、教育学部に設置されていないこと、学習とスポーツの二本柱で展開していること、教員免許、司書教諭、図書館司書、博物館学芸員の資格取得が可能であることなどの特徴を見出すことができる。一方で、カリキュラム改革という観点では、常葉大学の継続的な取り組みや具体的な事例を踏まえると、現状をより一層効果的なものとする様々な検討が求められる状況にあるといえる。カリキュラム改革は、現行カリキュラムの問題点の解決にとどまることなく、まさに受験生・学生に“積極的に選ばれる”ための新たな方策を打ち出すことが不可欠であり、他大学の状況把握は、そのための多くの示唆をもたらすものと考ええる。引き続き、情報収集・調査と分析・検討を進めていきたい。

注・参考文献

- 1) 京都大学高等教育研究開発推進センター編. 大学教育学. 培風館, 2003.
- 2) 平成25年度全国大学一覧. 文教協会. 2013.
ただし2014年8月現在、北翔大学「生涯学習システム学部」は「生涯スポーツ学部」となり、東北福祉大学総合福祉学部「社会教育学科」は教育学部教育学科と統合されている。また、川村学園女子大学教育学部「社会教育学科」は、2015年度以降の学生募集を停止する（各大学のホームページより確認）。
- 3) ここでは、大学で開講されている正規の授業科目を履修することで取得できる免許や公的資格に限っている。司書教諭資格については、正規の授業科目として開設されている司書教諭課程科目を履修することで取得できる大学（私立大学に多い）と、夏期休業期間中に現職教員等を対象に「司書教諭講習」を実施し、定員に余裕がある場合にのみ学部学生の受講を認めて取得できるようにしている大学（国立大学に多い）が混在しており、取得のための条件が一定でないため、ここでは含めていない。なお、専修大学では、司書教諭課程科目を正規の授業科目として開設している。
- 4) 文学部学修ガイドブック2014. 専修大学.
- 5) 平成24年度以降の入学者用の「学習便覧」による。
- 6) 同大学では、かつてはこれを「ブリッジ履修」と称してきた。履修希望者には、大学1年次の成績状況等による審査の他、人数制限や選抜試験が課される場合もある。なお、現在は学部・学科を横断する他の履修制度と統一され、「他学部・他学科履修」と呼ばれている。
- 7) ヒアリング調査（注10）における猿田真嗣教授の発言。
- 8) 居城舜子ほか. 生涯学習支援者養成の現状と課題：生涯学習学科カリキュラムの再構築に向けて. 常葉大学教育学部生涯学習学科, 2008.3（常葉学園大学共同研究報告書）.
- 9) 社会教育主事は任用資格であり、所定の単位を修得し、さらに大学卒業後1年以上社会教育主事補の職に従事することにより資格を得ることができる。レクリエーション・インストラクターは、日本レクリエーション協会、キャンプ・インストラクターは日本キャンプ協会、初級障害者スポーツ指導員は日本障害者スポーツ協会が、それぞれに認定する民間資格である。
- 10) 猿田真嗣. 体験・交流・内省を軸とした初年次教育科目の開発と実践：平成24年度「生涯学習セミナー」の実施報告. 常葉大学教育学部紀要. 2014, No.34, p.163-180.
- 11) 2014年8月28日に、常葉大学教職大学院の猿田真嗣教授に対するヒアリングを実施した。
- 12) 学校法人常葉学園に属する全ての学校・大学等は、初年次教育の一環としてキャンパス内に設置された施設（研修セミナー）において、宿泊を伴う研修を制度化しており、生涯学習学科は、例年2月～3月のいずれかの日程で実施している。
- 13) 「生涯学習セミナー」は、「人間力セミナー」（隔週開講）と教授会が設定されていない日程で開講される。
- 14) 以下の論文では、学生の意識調査や受け入れ施設へのインタビュー調査の結果等にもとづき、本科目に関する現状、課題、可能性を論考している。上條秀元ほか. 青少年野外活動における学生ボランティアの意義と役割についての研究：平成23年度常葉学園大学学内共同研究報告書. 常葉学園大学研究紀要（教育学部）. 2013, No.33, p.203-246.

付記

- * 本研究は、社会科学研究所グループ研究助成 A 「大学における生涯学習教育の現状とあり方についての総合的研究」(2011～2013年度)（鐘ヶ江晴彦〈責〉・小峰直史・野口武悟・荻原幸子・服部あさこ）による研究成果の一部である。ただし、本論文に関する一切の責任は著者らにある。
- * 常葉大学教職大学院の猿田真嗣教授には、ヒアリング調査にご協力いただくとともに、適切な資料も提供して頂きました。心より感謝申し上げます。

